

(様式第1号)

市民との意見交換会実施報告書

開催日時	令和2年10月20日(火) 午後1時30分～午後3時			開催場所	大網地区地域交流センター	
出席議員	氏名	役割	氏名	役割	氏名	役割
	富樫正毅	座長	佐藤昌哉	進行	山田守	記録
	中沢洋	会場設営	加賀山茂	会場設営	菅原一浩	受付
	齋藤久	録音・写真	本間新兵衛	コロナ対策		
欠席議員	なし					
テーマ	地域の活性化策(小さな拠点づくりの推進)について					
団体等の名称	朝日東部地区自治振興会				参加者数	5人 (朝日庁舎5人)
実施内容 (概要等)	・地域活性化策(小さな拠点事業・国のモデル事業)をテーマに朝日東部地区自治振興会の役員等5人(朝日庁舎支所長及び総務企画課職員も傍聴)と意見交換を行い、地域活性化への現状や課題の共通認識を図った。 ・同振興会からは課題として、①モデル事業終了後のコーディネート役の確保、②社会実験として実施した各種事業を継続するための収益性の確保、③高齢者や一人世帯への除雪支援等が挙げられた。					

※主な意見及びその回答は、別紙のとおり

令和2年12月8日

鶴岡市議会議長様

総務班 代表者 富樫正毅 印

主な意見等	回答等	分類			
		I	II	III	その他（理由を記載）
大家族から地域から離れて行く。9人家族、8人、7人家族と出て行く。		○			
毎週日曜日に集落行事がある。雪囲い等、若い人たちは敬遠する。		○			
子供がいなくなりあいさつも少なくなっている。つながりを深めたい。		○			
27年度小学校がなくなった。子供がいないと地域が疲弊する。		○			
小さな拠点づくり事業 住民の意識 自分の地域は自分たちでという意識が高まっていない。		○			
【小さな拠点事業の継続について】					
<p>地域の活性化について、何年という刻みは聞いていなかった。地域デザイナーを雇用することが条件だが、利益を追求する事業ではない。</p> <p>雇用確保が必要だが、来年から人件費は出ないことになると、来年からどうするかが問題。</p> <p>丸投げされてやれといわれても無理。地域振興課に相談しても、これに準ずるものがあるかと尋ねるとないと言われている。</p>	<p>(班会議での意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝日庁舎に継続することができないか検討を依頼している。 		○		

【除雪対策について】					
空き家がたくさんある。空き家は、自分で雪下ろしをしなければならない。	(班会議での意見等) ・地域内で完結できる問題ではない。 ・NPO等、組織化の検討も必要があるのでは。 ・実態調査が必要だが、改築する朝日庁舎に豪雪時に緊急避難する機能を持たせること等を提案してはどうか。(月山国道維持出張所のような機能)			○	
若い人は近隣まで雪下ろしを手伝わなければならない。1回ではすまない。2回も3回も手伝っている。道路の除雪はきれいだが、家の雪下ろしは困難。				○	
冬は家に帰れなくなる人が出ている。国道から先には入れなくなり、ホテルやコンビニの駐車場に車中泊するときがある。				○	
【農業（耕作放棄）対策について】					
中山間地域等直接支払事業補助金は助かっているが、もう一期はできない。今後、荒れて田んぼはつくれなくなる。転々とあるので移動が困難。人手が足りない。	(班会議での意見等) ・コロナ禍となり中山間農業守るための国の予算が今後どうなっていくか心配である。 ・平場と中山間地の対策は違う。政策的に課題解決していかなければならない問題 ・鳥獣被害は農業だけの問題ではなく、コミュニティ(住民生活)の問題でもある。 ・中山間地は大規模に集約することが難しい。			○	
鳥獣被害がもろにある。(さる、いのしし)				○	
一反歩2万の補助金? 検討はなっていない。水の管理が大変。				○	

【六次産業化（体験農業）対策について】					
加工室をつくることを検討しているが、どのように維持していくかが課題。	<p>(班会議での意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 例えば保健所の許可を得るにしても容易ではない。行政がもっと農家に寄り添って、入り込んでいかないと解決できない。 加工によって農家所得を増やすことは大網だけの課題ではなく、全市的な課題 農家は加工することはできるが、販路の開拓等は難しい。 加工できる資源がどれだけあるのか。 コーディネーターだけではケアできていない。農家が作ったものを集めて売ることまでできる人材（地域おこし協力隊等）が間に入ることで、持続が可能となり、小さな拠点のモデルになるのではないか。 大網だけでスキームを作るのは難しい。朝日地域全体で考える必要あるのではないか。 大網地区では、現時点で外部人材（協力隊員等）を入れることに躊躇しているようだ。 		△	○	
プール跡地を加工場に利用できないか、今後の相談。加工場で何をつくりたいのか検討が必要。			△	○	
月山筍 缶詰をつくりたいという要望があったが、運営体制が出来上がらなかった。造れるようにはしてある。月山筍の缶詰、春と秋だけでは事業として維持できない。			△	○	
毎年県外から収穫者が来るが、畑の手入れについて人手をどう入れるかが課題。建設業者に頼めば一日 2 万、3 万くらい請求される。			△	○	

分類Ⅰ：今後の市議会活動の参考意見とするもの 分類Ⅱ：執行機関に伝えるもの 分類Ⅲ：議会（常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、広報広聴委員会等）として調査・検討を行い、その対応を明らかにするもの その他：分類Ⅰ～Ⅲ以外のもの（その理由を記載すること）